

MY COLOR

Vol.3

きらっと*とよかわっ! 輝くひと

さまざまな分野で活躍する豊川市出身のトップランナーを紹介します

リスナーと向き合い 朝イチバンで元気を届ける

〈ミュージック・ナビゲーター〉小林 拓一郎さん



小林 拓一郎

(こぼやしたくいちろう)

牛久保小学校、南部中学校、国府高校と進み、アメリカオレゴン州立大学へ。2004年にZIP-FMミュージック・ナビゲーター・コンテストでグランプリを受賞。現在、朝6時から放送のMORNING CHARGEを担当



ZIP-FM「MORNING CHARGE」(月~金 6:00-9:00) twitter: @morningcharge

いつもの通勤、通学の時間、ラジオから聞こえてくる力強くも親しみのある声。このまちの朝に元気を届けてくれる、ZIP・FMミュージック・ナビゲーターの小林拓一郎さんにお話を聞きました。

中学時代の夢は、本場アメリカでバスケットボールをすることだった。その夢は、高校3年間を通して冷めることなく、アメリカの大学へ留学。しかし、「現地の学生たちとプレーをした瞬間、あまりのレベルの高さに、現実を突きつけた」と振り返る。この時を境に、バスケットボール一色の自分を見つめ直し、さまざまなことに挑戦するようになる。その一つが、キャンパスDJへのエントリー

だった。学校内にあるラジオ局から、学生たち自身が制作した番組を放送するというもの。「とにかく何でも挑戦しようと思った。日本語と英語を織り交ぜながら、見よう見まねで続けた」と話す。

大学卒業後、東京のアナウンススクールで専門的な技術を学ぶ。「暇さえあれば発声練習を繰り返し、必死にしがみついた。できることは何でもやった」と当時の苦労を思い返す。

受講を終え、下積みを重ねる中、転機が訪れる。2004年に開催されたZIP・FMのコンテストでグランプリを獲得。これを機に、ZIP・FMからオファーが届き、ミュージック・ナビゲーターとしての人生がスタートした。

初めはうまくいかなかった放送も、リスナーの反応を確かめながら、自分たちを持つようになった。5年目を迎え、抜てきされたのは、自身が強く希望していた朝の帯番組。「おはようございますの声を届けたかった。聞いてくれる人を想像し、いかに共感できる言葉を伝えられるかをいつも考えている。自分の声を聞いて少しでも元気になるってほしい」

ミュージック・ナビゲーターになって10年、「これまで、自分の夢をかなえるためにがんばってきた。これからの10年は、培った経験を生かし、自分を育ててくれた地域や周りの人のためにできることをしていきたい」と新たなステージを歩もうとしている。